菜の花エコウォーキング



オイコス恒例の、「菜の花エコウォーキング」を 3月27日開催しました。当日は少し肌寒いでした が、お天気に恵まれ、小学生のいる家族から少し高 齢?の約30人が、八千代緑が丘駅近くから流れる 花輪川に沿って、桑納川の落ち口まで、ゴミ拾いし ながら歩きました。

コブシやニワトコの花、花輪川の満開の菜の花と春を満喫しました。高秀牧場では、牛の爪切り(削蹄)を見学し、オイコス活動の土橋では、牧場から頂いた牛乳を参加者に振舞いました。(桑波田)



菜の花が満開です!



オイコス「エコウォーキング」に参加して



都心ではそろそろ桜の便りが聞かれる頃なのに、八千代ではまだ一分咲にもならない、肌寒い日の出発でした。

住宅地の中を歩くと、どこの家の庭にも確実に春の訪れが感じられました。子どもさんの参加者の中には熱心にメモを取ったり、説明に耳を傾けるのを見かけ、見習わなければ・・と反省をしました。

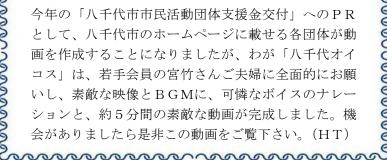
近頃は、子どもの頃どこでも目にする事が出来た風景が無くなってきている事に、淋しさを感じるのは私だけではないと思います。

つい昔はよかったな・・と思い出しながらのウォーキングでした。

道々で草花・木々の名前を聞いたり、子どもの頃の事を思い出して笑ったり、夕食の足しにと摘み菜をしたりと、ゆったりとした時間を過ごしながら、菜の花の香りと新鮮な美味しい牛乳に迎えられてのゴールで肌寒かった出発のウォーキングが、心も身体もホッコリ出来た半日でした。

(高津・山本佐登美)

編集後記





発行責任者:川瀬 純一 事務局&問合せ:小原 翔

2: 047-450-4663

mail: info@yachiyo-oikos.jp

~~よみがえれ花輪川~~

八千代オイコス かわら版

第 31 号



アジサイ

平成 28 年 5 月 20 日発行 NPO 法人八千代オイコス

http://www.yachiyo-oikos.jp/

印旛沼のあれこれ **最終話 **



印旛沼については関係機関の情報を基に種々記載してきましたが、最終回に当たり周辺の状況など思いつくままに述べたいと思います。

*印旛沼は周囲の農業用水、京葉工業地域への工業用水、千葉市、習志野市、船橋市の飲料用水として供給されています。

内水面漁業も行われコイやフナなどが漁獲されている。

付近一帯は県立自然公園「印旛手賀自然公園」に指定されており、サイクリングロードや遊歩道が整備されている。また西印旛にあたる佐倉市「ふるさと広場」には湖畔にオランダ風の風車があるほか、シーズンになるとチューリップやコスモスなどの花畑として、大勢の人でにぎわいます。

豊かな印旛沼の水とその周辺の自然に満ちた土地は春と秋、そして野鳥たちの渡り時期には渡りの中継地として、また越冬及び越夏の土地として利用される、まさに大きな「渡りの回廊」となっています。

珍鳥と称される野鳥は日本の希少鳥類であり、多くのバードウオッチャーや研究者、専門家にとっても見たい、研究したい鳥である。沼や周辺地では近年、コモンシギ、オオヨシゴイ、オガワコマドリ、サバクビタキなどに加え、個体数が減りつつあるものの、コジュリン、コヨシギリ、サンカイゴイなどの希少鳥もいる。

希少種の野鳥はなかなか見る機会が無いから、バードウオッチャーや、野鳥撮影の カメラマンにとって、是非"見たい、撮りたい"の気持ちが先立って生態系のことや、

他人が所有する土地であること、公共の場であることを忘れ、マナーに欠けるカメラマンも出て、全体と しては野鳥撮影のマナー低下に繋がっている。

印旛沼の水は水質の悪化が進み、周辺地域では、開発が拡大されているものの、今でも野鳥の生息環境が良好な自然の宝庫であることは間違いない。実際このことを裏付けるかのように、沼と周辺地域で確認された野鳥はこれまでに約250種類近くののぼり、日本産鳥類が633種類であることを見れば驚きを隠せない。(田邉)

(財) 印旛沼環境基金発行「いんば沼 第36号」、「いんば沼のはなし」及びウイキベデイアより抜粋

28年度総会を終えて

今年の第16回総会も去る4月3日(日)無事終了しましたが、オイコス発足以来活躍を続けてきた小原事務局長が総会前より病気療養の事態となり、役員手分けでの準備を進めるピンチとなりましたが予定通りの開催となりホッとしたところです。

新年度の基本方針は従来とさほど変わらぬ活動内容で進めますが、その進め方で大きく変更 した事は主活動項目を役員が分担して執行する事としました。

これによって事務局機能を集中させず、機動力の低下を避けたいと考えています。

ところで、新年度早々に新しい試みのステージを考える事案が提案されています。一つには、コミュニティ推進課より「28年度市民活動団体支援交付金制度」PRを各団体による動画でのプレゼンテーションをとチャレンジを受け、目下我々会員の中の映像処理に長けたメンバーを中心にこれに応えた作品をと鋭意検討を重ねているところです。

又事業の柱となる「川の学校」の展開については、NPO 水環境研究所(瀧和夫理事長)からコラボ活動の提案を受けました。「川の学校」の目的である川(水)を通して子ども達への環境教育支援事業を今まで以上にコンセプトをはっきりさせた<オイコス水育>につながった内容に仕上げたものになる事を考えて行きたいと思います。

オイコス16年目に当たり、事務局長休職という穴を何とかカバーし合いながらの厳しい年 となりますが、チームワークを以って皆で活動を進めて行きましょう。

(代表 川瀬純一)

今年も米づくりが始まりました

今年度田圃の担当する事になりました金室です。今年の 目標は参加される人達に沢山の体験と驚きを米作りでして もらう事だと思っています。田んぼは日本人の食生活の根 幹を担うものだと考えています。それを表面的だけでなく、 苦も楽も参加された方と一緒に体験し、参加された子供達 に見せていければと思っています。そういう意味では大人 は大変だと思いますが、子育ての一環と考えれば沢山の方 と同じ経験が出来る事が大切だと考えています。絶対に都 会では経験できない、千葉県だからこそ出来る体験を皆さ んと一緒に出来る事を私たちは喜びと考えています

今年も沢山のモチ米を収穫して楽しい餅つき会を!頑張りましょう。(金室)



▲泥んこ遊びではありません。手製のはしごに乗って代掻きのお手伝い



▲子ども達も田植えに一生懸命



▲お父さん達は、一列に並んで

月	日	曜日	項目
4	3	日	第16回八千代オイコス総会
	9	土	ホタルの里総会オイコス理事会
	10	日	花輪川作業·総会(第2日曜)
	17	日	田起こし(神久保田圃)
	24	日	シロカキ(神久保田圃)
5	5	振休	田植(神久保田圃)
	8	日	オイコス花輪川作業・定例会
	11	水	イオンデー
			市民活動サポートセンター事業報告会
6	5	日	田の草刈り
	11	土	イオンデー
	12	日	花輪川作業·定例会(第2日曜)

月	目	曜日	項目
7	3	日	田の草取り
	10	日	花輪川作業・定例会(第2日曜)
	11	月	イオンデー
	中旬		川の学校チラシ配布/広報やちよ掲載原稿送付
	30	土	川の学校第1日目
	31	日	川の学校第 2. 日目
	6	土	ホタルを探す会
0	11	祝	イオンデー
8	14	日	花輪川作業・定例会(第2日曜)
			田の草取り
9	11	月	花輪川作業・定例会(第2日曜)イオンデー
			稲刈り取り・ハザ架け、

月	日	曜日	項目
10			米収穫、脱穀
	9	日	花輪川作業·定例会(第2日曜)
	11	火	イオンデー
	23	日	秋の花輪川エコウォーキング
	11	金	イオンデー
11			サポセン祭り参加(日程未定)
	13	日	花輪川作業·定例会(第2日曜)
12			オイコス忘年会
	11	日	花輪川作業・定例会(第2日曜)・イオンデー
	23	祝	餅つき会

月	日	曜日	項目
1	15	日	花輪川作業•定例会(第2日曜)
2	11	祭	イオンデー
	12	日	花輪川作業・定例会(第2日曜)
3	11	土	イオンデー
	12	日	花輪川作業・定例会(第2日曜)

